

イスラエル

State of Israel

	2006年	2007年	2008年
①人口：741万人（2009年4月末現在）			
②面積：2万2,145km ²			
③1人当たりGDP：2万8,365米ドル （2008年）			
④実質GDP成長率（%）	5.2	5.4	4.0
⑤貿易収支（米ドル）	△76億1,730万	△101億8,870万	△132億2,750万
⑥経常収支（米ドル）	72億2,100万	41億8,500万	15億9,500万
⑦外貨準備高（米ドル）	291億5,300万	285億1,900万	425億1,300万
⑧対外債務残高（米ドル）	865億3,000万	891億2,100万	852億6,500万
⑨為替レート（1米ドルにつき、 シエケル、期中平均）	4.4558	4.1081	3.5880

〔注〕②：ヨルダン川西岸・ガザ地区を除く。ゴラン高原、東エルサレムを含む
〔出所〕①⑤：イスラエル中央統計局（CBS），②：イスラエル外務省，③⑦⑨：IMF，④⑥⑧：イスラエル中央銀行

■内外需弱含みで、成長が鈍化

イスラエルの2008年実質GDP成長率は、年初見込みの5.4%を下回る4.0%となり、5年連続の5%台には届かなかった。世界金融危機の影響は、特に2008年11月以降、製品輸出の減少と原材料輸入の低下というかたちで現れてきており、企業は工場稼働率の低下、人員解雇の拡大、給与・賞与支払いの凍結・削減など厳しい状況に陥った。2009年第1四半期には前年同期比で1.1%成長にまで低下し、輸出入はそれぞれ同3割近く減少を記録した。民間消費もマイナス（1.2%）に転じ、内外需ともに弱含みとなった。

イスラエル中央銀行では、2008年秋以降2009年春にかけて政策金利を4.25%から段階的に0.5%まで引き下げるなどの措置を講じながらも、景気後退による税収減で財政赤字の拡大を懸念している。2008年12月末から1月下旬まで続いたパレスチナのガザ攻撃について、政府は国内経済全体への影響は軽微とするが、軍事費支出や燃料

輸入増などが、財政をさらに圧迫している。政府は、2009年のGDP成長率をマイナス1.5%と予測しており、少なくとも2009年内は厳しい状況が続く見込みである。

■2008年第4四半期を境に貿易が縮小

イスラエル中央統計局（CBS）発表の通関統計によると、2008年の貿易は、輸出が613億2,230万ドル（前年比13.4%増）、輸入は651億7,320万ドル（同15.1%増）と、通年では2ケタ増を記録し、輸出入とも初めて600億ドルを超えたが、入超幅は拡大した。

輸出を品目別にみると、医薬品などの化学製品（構成比22.1%、前年比伸び率41.5%）が輸出増に最も寄与した。国・地域別では欧米向けの輸出が7割強である構図は変わらない。対米輸出では、米国側の統計によると、医薬品や飛行機・装甲車両の伸び率が高い。中国、インド、ブラジルへの輸出も大幅に伸びている。

輸入では、全体の7割を占める原材料のうち、上半期のエネルギー価格高騰の影響で燃料（構成比19.7%。前

表1 イスラエルの主要品目別輸出入＜通関ベース＞

（単位：100万ドル、%）

	輸 出 (FOB)				輸 入 (CIF)				
	2007年 金 額	2008年 金 額 構成比		伸び率	2007年 金 額	2008年 金 額 構成比		伸び率	
工 業 製 品	48,845.0	56,156.2	91.6	15.0	原 材 料	40,490.6	46,604.0	71.5	15.1
化 学 製 品	9,578.9	13,555.9	22.1	41.5	機 械・電 子 産 業 向 け 原 材 料	7,258.1	7,975.2	12.2	9.9
石 油 製 品	385.9	554.7	0.9	43.7	化 学 素 材	3,617.8	4,396.0	6.7	21.5
通 信・光 学・医 療・精 密 機 器	7,997.2	8,048.9	13.1	0.6	ゴ ム・プ ラ ス チ ャ ッ ク	2,148.8	2,284.7	3.5	6.3
電 子 部 品・コ ン ピ ュ ー タ	2,502.3	2,544.3	4.1	1.7	ダ イ ヤ モ ン ド（未 研 磨）	5,382.8	4,798.7	7.4	△10.9
ゴ ム・プ ラ ス チ ャ ッ ク 製 品	2,035.4	2,116.9	3.5	4.0	ダ イ ヤ モ ン ド（研 磨 済 み）	4,653.2	4,566.0	7.0	△1.9
輸 送 機 器	1,999.4	1,849.0	3.0	△7.5	燃 料	8,935.4	12,847.7	19.7	43.8
機 械・機 器	848.8	909.4	1.5	7.1	投 資 財	9,231.2	10,269.9	15.8	11.3
ダ イ ヤ モ ン ド（研 磨 済 み）	14,569.4	15,521.8	25.3	6.5	機 械・機 器	6,473.2	7,126.7	10.9	10.1
ダ イ ヤ モ ン ド（未 研 磨）	3,849.2	3,876.0	6.3	0.7	輸 送 機 器	2,758.0	3,143.2	4.8	14.0
農 産 品	1,326.0	1,225.8	2.0	△7.6	消 費 財	6,851.9	8,239.8	12.6	20.3
					家 具・家 電 製 品	1,697.9	1,947.3	3.0	14.7
合 計	54,092.0	61,322.3	100.0	13.4	合 計	56,623.0	65,173.2	100.0	15.1

〔出所〕表3とも、イスラエル中央統計局（CBS）。

年比伸び率43.8%)が89億3,500万ドルから128億4,800万ドルへと大きく増加し、全体の輸入増の主因となった。投資財(構成比15.8%)、消費財(同20.3%)もそれぞれ前年に比べて11.3%増、20.3%増となった。

2009年第1四半期に入ってから、輸出入共に、前年同期比で一転して35%以上の減少となっている。とりわけ、研磨済みおよび未研磨ダイヤモンドの輸出入が、いずれも前年同期比約5~7割減と落ち込んでおり、伝統産業であるダイヤモンド産業にも不況の波が押し寄せている。同業界筋は「ダイヤモンドのようなし好品は、不況の影響を一番最初に受け、一番最後まで回復しない業種のため、しばらくの間は厳しい状況が続く」とみている。

■ベンチャーキャピタルにも金融危機が影響

2008年の投資動向は、対外直接投資が前年比13.8%増の77億1,900万ドル、対内直接投資が同5.8%増の105億4,200万ドルと、いずれも2007年を上回り好調に推移した。

IBM、ヤフー、マイクロソフト、ジョンソン・エンド・ジョンソンなど欧米の大企業から国内企業、特にベンチャー企業に対する投資が中心という近年の状況に変わりはない。これら外国からの投資は、国内企業、特にベンチャー企業の活性化に直接寄与するものであるが、金融危機の影響により、今後、これら投資の停滞が懸念されている。ベンチャーキャピタル(VC)関係者によると、金融危機以降、イスラエル国内でも投資の引き揚げ・

凍結などが相次ぎ、ベンチャー企業の資金繰りを圧迫しているという。イスラエル・ベンチャー協会によると、国内におけるVCによる投資額について、2008年は前年比18.0%増の20億7,600万ドルであったが、2009年第1四半期は前年同期比57.1%減の2億6,500万ドルにとどまっております。通年では大幅な減少が懸念されている。

一方で、新たなビジネスチャンスとして、環境分野が大きく取り上げられており、太陽光発電や水処理技術分野のベンチャー企業などに注目が集まっている。

■自動車市場冷え込みの影響大きい対日輸入

CBSによると2008年の対日貿易は、輸出が前年比14.7%増の8億8,300万ドル、輸入が同18.3%増の22億2,670万ドルとなり、輸出入総額では30億ドルを超えた。しかし、輸入の過半数を占める輸送機器(主に自動車)は、国内市場の停滞で、急速に冷え込んでいる。

2009年第1四半期の国内新車販売台数は、2008年シェア1位のマツダが前年同期比44.8%減、同2位のトヨタが49.3%減と苦戦している。逆に、同3位であった現代自動車は19.3%減と、安価な車両単価が幸いし、上位2社に比べるとダメージが少ない。2008年の国内新車総販売台数は19万4,226台であったのに対し、2009年の予想総販売台数は、前年比2~3割減の12万5,000~14万5,000台と、業界関係者は予想している。既に、2009年第1四半期における輸送機器の対日輸入額は、前年同期比48.4%減の2億1,400万ドルにとどまっております。対日輸入全体としても、2009年は大幅に減少する可能性が高い。

二国間ビジネス交流では、2008年6月に産業用ロボット・機械メーカー大手の安川電機が、イスラエルの同社代理店を完全子会社化したほか、アイザワ証券がテルアビブ証券取引所との提携を開始している。2009年1月には、富士フィルムメディカルが、イスラエルのギブン・イメージング製カプセル内視鏡の国内販売を開始した。また、オリンパスメディカルシステムズは、2009年3月に同国メディノールと医療機器の共同商品化の協力を、欧米などでの販売を発表しており、引き続きハイテク交流が継続している。

表2 イスラエルの業種別ベンチャーキャピタル投資受け入れ額

(単位:社,100万ドル,%)

	2007年		2008年			
	企業数	金額	企業数	金額	構成比	伸び率
通信	93	371	108	516	24.9	39.1
ソフトウェア	92	235	108	407	19.6	73.2
ライフサイエンス	96	351	80	318	15.3	△9.4
インターネット	71	257	67	284	13.7	10.5
半導体	32	327	53	323	15.6	△1.2
環境技術	15	72	30	84	4.0	16.7
その他	63	146	37	144	6.9	△1.4
合計	462	1,759	483	2,076	100.0	18.0

[出所] イスラエル・ベンチャー・キャピタル協会(IVC)リサーチ・センター。

表3 イスラエルの対日主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位:100万ドル,%)

	輸 出 (FOB)				輸 入 (CIF)			
	2007年		2008年		2007年		2008年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学製品	96.1	139.4	15.8	45.1	89.8	105.2	4.7	17.1
宝石・貴金属	103.4	90.9	10.3	△12.1	77.9	76.7	3.4	△1.5
卑金属	78.4	83.4	9.4	6.4	552.2	705.4	31.7	27.7
機械・電気機器類	179.4	308.3	34.9	71.9	1,028.0	1,197.7	53.8	16.5
光学・医療機器	229.8	173.8	19.7	△24.4	74.1	79.4	3.6	7.2
合計	769.6	883.0	100.0	14.7	1,882.1	2,226.7	100.0	18.3